

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [赤穂市立原小学校] 担当教諭名 [江崎 優也] (5年1組 7名, 6年1組 10名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Taipei Municipal Ying-Qiao Elementary School] 担当教諭名 [Yen-Chun, Lin]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	心をつなごうアートマイル	23

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	The Good Thing of Our Country 日本と台湾の国の素晴らしさを伝え合おう
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	互いの国には、素晴らしいものがある。両国から伸びる満開の桜の中に、食べ物、歴史的な建造物と現代の建築物、誇ることのできる技術や文化などを象徴的に表している。そして、美しい山の頂きでは、日本と台湾の子どもが互いの国旗を持ち、肩を組んで、友情を深めている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議で生の声で相手校に触れることで、交流したい、活動を進めたいという意欲が高まった。 ・紹介活動を通して、自分の地域や国のよさを認識し、誇りをもつことができた。 ・友達と協働して作品を創り上げる達成感を味わうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらにコミュニケーションを深めるために、フォーラムで交流を図っていきたい。 ・相手校と協働学習が進むよう、また、児童が主体的に活動できるように、本年度児童に役割分担をした活動をさらに充実させたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・同じアジアの国であるが、言語も生活の様子も違うことに感動していた。また、自分たちの国よりもよいと思われることを多く発見し、相手国を敬う気持ちが生まれた。 ・相手校からのプレゼントや壁画により、温かい心に感謝したり、繊細な技術に感動したりし、親しみとともに尊敬の思いをもった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親日感情にあふれ、互いに理解し合い、交流する喜びを感じた。私達も積極的にかかわり合うことの大切さと喜びを感じた。 ・英語での交流が堪能で、児童にもそれが浸透していた。自分たちの努力が必要であると感じる。 ・壁画やプレゼントがとても繊細で、誠心誠意取り組んでくださっていることに敬服した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	テレビ電話で自己紹介 ・名前, 得意なこと, 好きなこと	・自己紹介の発音は通じるかを ALT に確かめながらわくわくして準備を進めた。テレビ会議では, 歓声が上がった。	総合2
共有 テーマ学習	10月	・テーマに沿って自分の国や相手国を調べる。 ・調べたことをまとめ, フォーラムで紹介する。	・自国のよいものが相手に伝わりやすいように, インターネットで画像を選んだり, 何度も英語の表現を確かめながら説明を付記したりした。	総合4
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	・各校で構図を考える。 ・構図をフォーラムで相談する。互いに児童の原画を送り, 意見交換をして決定する。	・友好を基盤として, 互いの国の象徴的なものを紹介できるための構図を描いては, 何度も話し合った。相手校の意見も尊重して下絵を決定した。	総合4
創造 壁画制作	11月 12月	・アート部とサプライズ部に分かれ, 下絵を描いたり, 相手校へのプレゼント(クリスマスプレゼント, 福笑い)をつくったりする。	・友達と色や塗り方を相談し, 声を掛け合いながら, 丁寧に取り組むことができた。 ・相手が喜ぶような工夫を話し合いながら楽しんでプレゼントを作った。	総合10
評価 振り返り 自己評価	3月	・完成作品を展示, 鑑賞する。 ・全校に壁画完成までの活動について発表する。	・相手校とつながった絵に感動の声を上げた。また, 絵の中の一つ一つの要素について日本と台湾とを対比し, 相違点について話し合った。	総合3

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	自分の地域や自国について調べを進めていくうちに「知らなかった」「すごい」という驚きの声があがり, それをまとめていた。
異文化の理解	A	4	フォーラムでの紹介事項について, 一つ一つ興味深く見入り, 友達と感想を伝え合っていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	説明に関しては, 英語で伝えようと調べることができていた。しかし, 相手校と会話したいという意欲を生かすことが難しかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	5	インターネットを活用し, 写真を選択したり, 英訳を行ったりして国の紹介やプレゼントの紹介をすることができた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	4	自国の紹介文作成や壁画制作の際は, 友達と意見を交わし合い, 助け合いながら活動を行った。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	アート部, サプライズ部のそれぞれのリーダーが計画を立て, 分担をしたり進捗状況から次の活動を促したりしていた。
学習を追究する意欲	B	4	自己紹介や自国の紹介は熱心に行ったが, 時間を保証できず, 深く掘り下げるまでには至らなかった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	5	友達と十分に吟味しながら絵の構成を決めていった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	5	相手校から送られてきた壁画の細かく美しい表現に感動したり, 日本と対比して相違点を話し合ったりすることができた。